

# 平成23年度 第4回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成24年3月15日(木) 市役所12階 第4会議室		
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 池田 裕明 齊藤 久美子  <div style="text-align: right;">五十音順</div>		
審議対象期間	平成23年10月1日～平成23年12月31日		
抽出案件(総件数)	建設総務 3件 水道局 1件	議 事 1 入札及び契約手続の実績状況等の報告 2 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議 3 その他	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 2件 水道局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	建設総務 1件 水道局 1件		
公募型指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
指名競争入札	建設総務 1件 水道局 1件		
随意契約	建設総務 1件 水道局 1件		
委員からの意見・ 質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会  
平成23年度 第4回会議録

<p>議事第1号 入札及び契約手続の実績状況等の報告</p>	<p>事務局説明</p>
<p>議事第2号 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議</p>	<p>委員及び事務局より抽出の経緯について報告</p>
<p>(建設総務課分) [事後審査型一般競争入札(電子入札方式)] ①北部処理区支線工事その4 和歌山市駅前線道路整備工事</p>	<p>事務局(建設総務課)抽出事案の説明</p> <p>両案件とも実績要件を求めず入札に付した結果、入札参加者数は、北部処理区支線工事その4は47者でしたが、和歌山市駅前線道路整備工事は15者でした。</p> <p>このように、同じ土木工事業の案件であるにも関わらず、入札参加者数に差が生じている理由として、施工条件の良さが関係していると考えられます。</p> <p>今回、和歌山市駅前線道路整備工事は、駅前の商店街部分の工事であるため、営業に支障のないように、粉塵や騒音、振動等の対策を考慮し施工しなければならず、施工条件が悪いため、入札参加者が少なく、応札額も高くなっています。</p> <p>一方、北部処理区支線工事その4は、施工距離全体の半分以上が推進工事となっており、地上での作業が立坑のみと少なく、大半が地下での作業となり、騒音や振動等の心配が少ないことから、施工条件も良く現場にかかる費用も軽減できるため、入札参加者が多くなっていると思われます。</p> <p>委員：はい、分かりました。</p>

[事後審査型一般競争入札（持参方式）]

②熊野古道沿いトイレ建設工事

事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明

本工事は建築物の材料を工場で製作し、現場で組立てを行うプレハブ工法で施工するものです。

今回、入札参加者が少なく、落札率が高くなっている理由としましては、プレハブの取引価格が上昇していること、また、建築工事が、11月以降、官民、元請又は下請を問わず過渡期となり、一時的な人手不足が生じることが考えられます。

委員：はい、分かりました。

[事後審査型一般競争入札（持参方式）]

③勘定御門東側石垣保護工事

事務局（建設総務課）抽出事案の概要説明

当該工事発注以前から、新しい石に積み替える工事として石垣改修工事の発注を行っていましたが、今回は、初めて石垣の修復を行う工事であったため、県外業者も対象として発注を行いました。

開札の結果、予定価格が安価であったため、県外業者の入札参加者がなく、和歌山城での石垣改修工事の実績を有する2者のみの参加と少なくなりました。

また、仕様書にて文化財石垣保存技術協議会に所属する技能者の指導のもと、施工することとしていたため、会員である技能者が所属している業者に下請発注する必要があったことから、落札金額が高くなっているものと考えられます。

委員：はい、分かりました。

[随意契約]

④1100mm送水管漏水緊急対策工事

事務局（水道局経理課）抽出事案の概要説明

市民の方からの漏水の通報により調査した結果、口径1100mmの送水管から

<p>議事第3号 その他</p> <p>委員の委嘱期間を終えて</p>	<p>漏水している可能性が高いということが判明しました。この送水管は、重要な送水管であり、断水してしまうと市民生活に支障をきたしてしまうことや、漏水箇所周辺の家屋にも陥没などの影響を及ぼす可能性があることから、きわめて緊急性が高いと判断し、随意契約を行いました。</p> <p>設計金額が高いということですが、断水せずに修理するためには、仮設の配管が必要となり、その仮設配管が今回口径700mmと大口径であり、総延長が非常に長く、新たに大口径のバルブを設置する必要があること等の理由で設計金額が高くなっています。</p> <p>委員：はい、分かりました。</p> <p>事務局：今回、該当案件はありません。</p> <p>基盤整備部長より挨拶</p>
-------------------------------------	---